



"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

The service club of the YMCA THE Y'S MEN'S CLUB OF NISHINOMIYA



AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUB - CHARTERED MAY 17TH, 1948

主 題 (2020~2021)

- ・国際会長 価値観、エクステンション、リーダーシップ
Jacob Kristensen (デンマーク)
- ・アジア太平洋地域会長 変化をもたらそう
David Lua (シンガポール)
- ・西日本区理事 主題 "Let's do it now"
副題 "2022に向け誇りを持って All is well"
古田 裕和 (京都トゥービーワイズメンズクラブ)
- ・六甲部 部長主題 行動に信念を、信念は行動に
Believe in what you do. Do what you believe in.
安行 英文 (さんだワイズメンズクラブ)
- ・西宮クラブ会長 万本 敬一
会長主題 報・連・相 医食同源

2020年9月
869号
《74期3号》
since 1948.5.17

スポンサークラブ
大阪クラブ
DBC
近江八幡クラブ
広島クラブ

クラブ主役員	
会 長	万本 敬一
直前会長	小野 勅紘
副会長(次)	廣瀬 一雄
副 会長	石井 恭子
書 記	濱崎 進一
書 記	山口 吉郎
会 計	小野 勅紘
会 計	重村 仁
監 事	阪根 新
監 事	山本 常雄
広報事業委員長	小野 勅紘
区LD委員	馬場 貴英
区組織検討	山口 吉郎
担当主事	藤田 良祐

2020年9月 西日本区強調ポイント Menettes

メネットの優しさ、思いやりをワイズ活動に活かしましょう。皆様の勇気で
クラブが、社会が、変わります。そして世界も！

吉本 典子 メネット事業主任 (熊本ジェーンズクラブ)

西宮ワイズメンズクラブ9月例会

日 時 2020年9月11日(金) 19:00~20:30

会 場 西宮YMCA本館3階C会議室

ドライバー 宮地特別メネット、山口吉郎メン

- | | |
|--------------|------|
| 1. 開会点鐘 | 万本会長 |
| 2. ワイズソング | 一同 |
| 3. 聖句朗読 | 阪根メン |
| 4. 3分スピーチ | 全員 |
| 近況報告など内容は自由 | |
| 5. お誕生日のお祝い | 万本会長 |
| 8月および9月生まれの方 | |
| 6. ワイズニュース | 万本会長 |
| 7. YMCA ニュース | 藤田主事 |
| 8. 閉会点鐘 | 万本会長 |

※今回も食事はありません※

今月の聖句	
愛を身に着けなさい。愛は、すべてを完成させるきずなです。	
コロサイの信徒への手紙 3章 14節	
第1例会(20木)	第2例会(28金)
メン 0名	メン 12名
メネット 0名	メネット 1名
ビジター 0名	
合計0名	合計13名
コロナ禍により 中止 出席率 100%	

ファンド・BF	8月	20年度累計
ニコニコファンド	¥0	¥3,000
BF@300	¥0	¥3,900
東日本震災@200	¥0	¥2,600

Happy Birthday To You

9月 お誕生日おめでとうございます

1日 岩田 健司メン 6日 丸山 美巴メネット 17日 宮地 京子特別メネット 21日 岡田 佑一郎メン

会長メッセージ

会長：万本 敬一メン



先月の納涼例会は、残念ながら中止となりましたが、芦屋クラブより8月19日の第一例会にゲストで参加しませんか？と誘われ廣瀬メンと2名で出席しました。食事を楽しみながらゲストの大下キャンプリーダーより「キャンプ報告」が映像を見ながら説明があり、ONE CAMP には大岩会長が出席されていました。20名の少人数の開催であったがインターネットでのZOOM 中継勉強会や、野外活動をスマホで中継配信したりなど、工夫をされた経過が報告されました。

大岩会長との会話の中では、新しいファンド事業を考えているとの事で、マスクの下に装着するプラスチックのカバー（口紅等がつかない）を紹介され、早速サンプルを購入しました。

8月第1例会報告

例会は中止となりました。

メネットのやさしさを行動に

西日本区メネット事業主任 吉本典子



日頃よりメネット事業へのご理解、ご支援をいただき心より感謝申し上げます。

9月はメネット強調月間です。この機会に西宮ワイズメンズクラブブリテンへ投稿

させていただきますありがとうございます。

はじめに貴クラブのホームページを拝見し、西宮クラブの歴史を少しだけ学ぶことができました。

西宮クラブ、YMCAの原点は、善積 英一氏の

「将来の日本を救うには自分が 育てられたYMCAを設立する以外に道はない」に始まり、大阪クラブをスポンサーに1948年5月17日、全

国で12番目にチャーターされ、いじめ、不登校、犯罪の凶悪化など 様々な問題がとりまく中で、青少年の健全な育成に取り組んでこられ、1993年45周年を迎えられました。私がワイズに入会した年です。たしか、西宮クラブ・近江八幡クラブ・広島クラブ3クラブ合同で60周年記念例会を琵琶湖汽船ミシガンで開催された時に参加したことを懐かしく思い出しました。西宮クラブのすばらしい歴史に触れ、ワイズメン、メネットのお働きに心より感謝申し上げます。又、ホームページで西日本区役員を退任する時の写真を見つけた時は嬉しく思いました。

西日本区メネット事業国内プロジェクトは「各クラブで地域YMCAの支援」をお願いします。その報告書を提出していただきます。

新型コロナで例会もままならないクラブの事を思い、目標を定めない自由献金にしました。したがって国内プロジェクトへの支援金はありません。YMCAは今年、キャンプ100年を迎え、秋には六甲YMCAでキャンプ100年記念シンポジウムが開催される予定です。国内プロジェクトへのメネット献金については「YMCAキャンプ100年記念事業」と「ポジティブネットの活動を行うYMCA」へ財政的な支援を事業委員会で検討します。

8月5日、メネット事業主査研修会をオンライン会議（ZOOM）で開催、古田裕和理事はじめ部長、主任、主査の皆さま23名の参加をいただきました。研修会の内容につきましては8月末に発行するメネット事業通信1号に詳しく掲載しております。例年とは違い皆さまに直接お会いしてメネット事業についてお話できないのがとても残念ですがメネット事業通信でその都度、報告させていただきます。是非、メネットの皆さまにメネット事業通信をご覧くださいませようお願いいたします。

メネットのやさしさ、新たな気付きでの支援をお願いいたします。メンと共にワイズ運動を推進しましょう。（西宮クラブの歴史について誤りがあ

りましたらお許してください)

東 海 道 5 3 次 歩 き 旅

岡田 佑一郎メン

8月盆休暇、新型コロナウイルスによる自粛で身辺整理中1998~2007年にかけて旧東海道を歩いた懐かしい記録が出てきましたので当時の思い出を少し書いてみました。

旧東海道を歩く計画は高校2年生の夏休み20日間で歩く計画を立てていましたが、母方の祖父が亡くなり取りやめになりその後53才になるまでには実現したいと段ボールに入った資料が処分できず押入に眠ったままになっていました。

1998年9月21日54才を目前に春美(家内)より資料処分の宣告を受け(やむなく)9月13日三条大橋より江戸日本橋に向け1回10km~15kmを目途に124里8丁(≒488km)を駅伝方式で歩くことにしました。(当初正直日本橋まで歩けるとは思っていませんでした。)

歩き始めてすぐ余島で開催されたワイズ六甲部会の準備中に調子が悪くなり急遽帰宅、診察の結果狭心症で緊急入院・手術と、あっけなく東海道ウォークは中断。術後主治医と相談『リハビリのつもりで無理せず奥さん同伴で歩くのはOK』の許可のもと再開。

旧東海道のルートは市販資料と市町村の担当課で情報を取得(メール、Fax)し縮尺25000の地図(57枚)に落とし込むのは簡単にできるのですが、街道がかならず公共交通機関と近接しているとは限らず、駅伝方式の難しいのはその日の出発地と終着地を最寄りの電車駅・バス停を探し時刻表でのスケジュール調整することです。西宮での生活がいかに便利か改めて実感しました。都市部を離れて困ったことは食事とトイレです、ほぼ平行にある国道1号線沿いはレストラン、コンビニ等がありますが旧街道沿いはほとんど何もありません、やたら目に付くのは理容室、美容院でした。最寄り駅には売店もなく弁当持参が必須、トイレは街道沿いの神社、寺でお借りしました。

特に記憶に残るのは36番の豊川市の赤坂宿の旅籠大

橋屋、創業は1649年(慶安2年)で街道で唯一当時の姿で現在まで営業されていて、街道筋に面した2階6畳間3部屋続きの1組限定の宿泊(予約に1年かかりました)が出来たことです。残念ながら2015年3月旅籠としての営業を中止されたそうです。

青息吐息で超えた難所の宇津ノ谷峠の先の鞠子宿にある1596年来営業の丁子屋のとろろ汁の美味しかったこと。三島宿からの4里(≒12km)も続く割石敷き(泥道対策)で歩きにくい登り坂の頂上箱根峠から見た芦ノ湖の息をのむような絶景、油井宿と興津宿の間にある『さった峠』からの海沿をぎりぎりに走るJR線、高速道路と駿河湾越しに見える富士山が一望できるビュースポットと歩くことで出会えた景色です。

寸又峡温泉、大井川鉄道の日本唯一のアプト式列車に乗車、日蓮宗総本山身延山・久遠寺訪問、箱根観光等と寄り道をし、足掛け9年43回の旅を2007年7月14日18時、台風4号の大雨の真ただ中最終日一緒に品川から歩いてくれた3人の子供たちと日本橋にゴールし、橋のたもとの派出所のおまわりさんに記念写真を撮ってもらいました。

鞠子宿 丁子屋

赤坂旅籠 大橋屋



YMCA ニュース

担当主事：藤田 良祐メン

今年の夏は神戸YMCAも新型コロナウイルスの影響により大きな影響を受け、キャンプを始めとした夏の事業も大幅に規模を縮小して実施しました。この影響は秋以降にも及び、恒例となっていました10月の西宮YMCAワイワイカーニバルや、三宮会館の秋祭り、11月のチャリティーランも中止の判断をせざるを得ませんでした。

これまで当たり前のように恒例行事として行っていたイベントが実施できなくなりましたが、それぞれのイベントの意味や目的を再確認する機会として捉えることができれば、アフターコロナの時代にそれぞれの地域でまたYMCAの価値を広げていく働きができるのではないかと思います。新しい時代の中でより良い協働ができるよう、このコロナ禍がワイズメンの皆様とYMCAの関係を深める機会になることを願っています。

1. 熊本県南部の豪雨災害

7月に熊本県を中心に降り続いた大雨で多くの被害がありました。コロナ禍で県を越えてのボランティア受け入れができない状況が続いていました。そんな状況の中、熊本地震の際に避難所運営を行った実績から、熊本YMCAに球磨町役場から避難所運営委託の依頼があり、YMCAによる避難所運営が開始されました。現時点では、神戸からスタッフを派遣しておりませんが、被災地におけるYMCAの働きを心に留め、皆様の日々のお祈りに加えていただければ幸いです。

活動の様子は熊本YMCAのHPをご覧ください
<https://www.kumamoto-ymca.or.jp/bousai/25530.html>

2. YMCA ポジティブネット募金

神戸YMCAでは子どもたちの自然の中での学びや体験機会を提供するために、オンラインによる感染症拡大防止の知識を学んだ上でオフラインの例会へ参加するCamping Onlineプログラムを開始しました。また、子どもたちの水泳プログラムでは密を避ける対策として隔週でプログラムを行い、参加者数の制限を行ってきました。(8月まで)YMCAではプログラムを通して「自らの命を守る」教育を実践しており、感染症対策に対する正しい知識を伝える機会にもなっています。子どもたちの大切な命を守り育むプログラムを継続して行うためにご支援いただければ幸いです。

神戸YMCA 寄附サイト <https://kifu-kobeymca.org>



ワイズニュース

【今後の予定】

9月25日(金) 19:00～ 第二例会

10月9日(金) 19:00～ 第一例会

ドライバー 濱崎・藤田 聖句・祈祷 藤田

10月23日(金) 19:00～ 第二例会

10月25日(日) 西宮YMCA カーニバル (中止)

10月28日(水) ワイズ主催チャリティーゴルフ(千刈カンツリー倶楽部)

11月8日(日) 神戸YMCA チャリティーラン (中止)

8月の国際会長ニュースをお届けいたします。このニュースは、国際協会会員の皆さまに、年間を通して様々な寄稿者の記事と毎月の最新情報をお届けすることを目的としています。興味深い記事を提供することで、国際協会とクラブの間の距離を縮めていきます。クラブと部の様々な話を「良い話を聞かせてください」で紹介していきます。この号では、国際兄弟クラブ(IBC)、リーダーシップ研修と組織開発についての記事、「良い話を聞かせてください」への2件の投稿、そしてIHQ(国際本部)からのニュースを読むことができます。

ジェイコブ・クリステンセン 2020-21 国際会長

編集後記 プリテン委員長 廣瀬 一雄

表紙の出席率、100%。EMC担当の山口政紀メンの苦勞のあとが覗われます。

今月はメネットの月です。メネット事業主任の吉本ワイズに御寄稿をお願い。熊本ジェーンズクラブではメン、熊本クラブではメネットとおもいます。

9月が誕生月の岡田メンに御寄稿をお願いしました。僕も誕生月なのに、と岩田メンからお声がかかるかも・・・

万本メンの会長メッセージに書かれていますように、芦屋クラブの例会に出席しました。先方のプリテンへの原稿依頼があり、「例会訪問あれこれ」と題して寄稿させて頂きました。芦屋の9月プリテンもまたご覧ください。

8月の国際会長ニュースをお届けいたします。この原稿は御寄稿いただいたものではありません。、「国際会長ニュース」の2020年8月号が発行され、その一部を抜粋して掲載いたしました。